

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 治療就労両立支援センター
研究課題名*	勤労患者への連携支援の実態調査 —仕事を持つ脳卒中患者支援に必要なこととは何か—
所属科*	大阪労災病院 治療就労両立支援センター
研究責任者*	今井 洋子
研究実施期間	開始 承認日 ~ 終了 西暦 2027 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	脳卒中 (110 症例)
研究対象となる治療・ 手術・検査の時期	自 西暦 2018 年 4 月 1 日 ~ 至 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究概要*	目的： 大阪労災病院にて脳卒中治療をした患者のうち有職者の経過を追跡し、支援の実施状況を調査する。当院をはじめとする脳卒中患者を受け入れる近隣の医療機関においてどのような支援が行われているのか具体的な支援方法を調べる。そこから近年厚生労働省や各自治体が推進する循環器病対策計画の「社会連携に基づく循環器病対策及び循環器病患者支援」、「治療と仕事の両立支援・就労支援」に注目し考察を行う。支援の実施状況を確認することで、今後の支援の在り方の指針となる。 方法： 過去の研究や調査を参考に治療や支援に関する質問票を作成。当院で治療を受け回復期病院へ転院した対象患者（症例数約 100 件）へ回答は匿名で可能とし、アンケート及び聞き取り調査を実施する。その調査の分析結果をもとに質問内容を作成し、近隣医療機関へのアンケート及び聞き取り調査を実施。また支援者や患者、患者家族に対して聞き取り調査等が可能な場合は半構造化インタビューを実施する。 医療機関支援者や患者等への調査結果を分析、演繹的アプローチでコーディングを続け分析結果を導き出す。

別紙第2号様式

倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表は研究責任者が部署で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 治療就労両立支援センター 今井 洋子 072-252-3561 (PHS:4273)

* 記入必須項目